



シルクル桐生

本町通りに面した群馬銀行桐生支店（石坂光紀支店長）のリニューアルに合わせ、敷地内に設けられた桐生市観光情報センター「シルクル桐生」（谷敏明センター長）。公民連携による観光まちづくりの拠点として今年3月16日にオープンを迎えた。

まちの景観に溶け込む約80㎡の平屋で、その半分は桐生市の職員が常駐し観光振興業務や観光案内を行う。年末年始を除き休館日は設けず、市の総合観光案内所として活躍する。残りの半分は「築地銀だこ」を展開する㈱ホットランド（佐瀬守男社長）が㈱かない屋（金井強社長）とコラボレーションし、洋風居酒屋「銀だこマキコレワイン酒場」（東孝之店長）を出店。桐生市出身のワインセクター・金井麻紀子さんがセレクトした「マキコレ・ワイン」に合わせて開発された創作たこ焼きなどオリジナルメニューを提供する。

駐車場には群馬大学発のベンチャー企業・GUDI（板橋英之会長）が開発した「ウッドチップモルタルブロック」が敷かれ、市内を運行する低速電動コミュニティバス「MAYU」の発着拠点に。また、6月には電気自動車用の充電スタンドも設置され、来桐者の中継地点として機能が充実する。

3月のオープン時には県外からの来桐者も多く、銀だこマキコレワイン酒場は連日満席になるなど施設全体として好調なスタートを切った。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大が深刻さを増してくると、観光振興業務は休業、銀だこマキコレワイン酒場はテイクアウト専門への切り替えを余儀なくされた。それから約1か月、群馬県の警戒度が下げられたことなどを受け、観光振興業務は6月15日から、銀だこマキコレワイン酒場も20日から営業を再開。金・土・日曜日は屋外での飲食も可能になり、新しい楽しみ方を携えての再スタートとなった。

銀行が休業日の土日祝日には駐車場を開放しマルシェやライブなどのイベント会場として利用可能で、市は企業や市民団体に活用を呼び掛ける。公募によって決定した愛称「シルクル桐生」は、桐生市を「知る」、桐生市に「来る」と絹織物（シルク）を掛け合わせた造語。コロナで水を差されたものの、「桐生だけ」のコンテンツ溢れるハブ・ステーションとして再出発で真価を発揮する。

●場所／桐生市本町5-354

【観光振興業務】

●電話／0277-32-4555 ●開館時間／午前9時～午後6時 ●休館日／12月29日～1月3日

【銀だこマキコレワイン酒場】

●電話／0277-46-8110 ●定休日／月曜日・火曜日・12月29日～1月3日 ※屋外飲食は月曜日～木曜日・祝祭日・12月29日～1月3日

●営業時間／水曜日・木曜日：午後4時～午後9時 金曜日：午後4時～午後10時

土曜日：正午～午後10時 日曜日・祝祭日：正午～午後8時

（屋外飲食）金曜日：午後4時～午後10時 土曜日：正午～午後10時 日曜日：正午～午後8時

●HP／<http://www.city.kiryu.lg.jp/shisetsu/kankou/1016107/index.html>

来桐者のハブ・ステーションとして
「桐生だけ」を携える観光まちづくりの拠点